

かみたか

～ 抱 夢 (HOME) ～



HP がみられます

発行:令和3年1月29日 文責:加倉井 千秋

今年もよろしく願いいたします。

丑年の動物「牛」は、農耕作業や物資運搬の労働力として、古くから人間の生活に欠かせない身近な動物でした。

十二支の動物の中で最も動きが緩慢で歩みの遅い牛の年は、先を急がず一步一步着実に物事を進めることが大切な年と言われています。また、子年に蒔いた種が芽を出して成長する時期とされ、まだ結果を求める時期ではなく、結果につながる道をコツコツと作っていく基礎を積み上げていく時期とされます。

着実な歩みを目指して上高根沢小学校全教職員、今年も力を尽くしてまいりたいと思います。どうかよろしく願いいたします。



表現力養成講座その2



「国語」では、上高根沢小学校で起きた不思議な物語をどのようなセリフを入れることで観客を引き付けられるかを考えながら演じました。

「音楽」では、校歌を季節ごとにアレンジし各パートごとにリズムや強弱を工夫して演奏しました。

「図工」では、色とりどりのランプシェードをゴム風船で制作しPC室をライトアップしました。

「体育」では、マット、跳び箱、縄跳びやダンスを軽快な音楽に合わせて難しい技にも挑戦して行いました。

今年はコロナ禍により発表会形式ではなく、各教室にて録画した映像を鑑賞しました。



お詫び：保護者の皆様に発表の様子を収録したDVDを配付する予定でしたが、JASRACに問い合わせたところ、国外の楽曲についての著作権取得が非常に困難なことが判明したため、配付を断念いたしました。何らかの形で発表内容についてはお伝えしたいと考えておりますので、ご了承いただけますと幸いです。



北高根沢中学校 阿久津中学校 学校説明会(6年)



15日(金)に北高根沢中学校及び阿久津中学校の先生にお越しいただき、中学校説明会を行いました。6年教室と会議室に分かれて行いましたが、子どもたちは、真剣な表情で中学校の先生の話聞いていました。中学校の先生からは、持参していただいた資料と映像で、小学校生活と中学校生活の違いや学習の仕方等を詳しく説明していただきました。小学校生活も、

2か月を残すだけとなりました。残り少ない小学校生活を有意義に過ごさせるとともに、夢と期待をもって中学校に進学できるように支援していきたいと思ひます。



まゆ玉作り(1年)

生活科の時間に、1年生がまゆ玉作りを行いました。本来であればシニアクラブの方々と一緒に行う活動でしたが、今年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から実施を見送らせていただきました。

まゆ玉飾りは、作物の豊かな「実り」を表現したもので、今年の豊作を願って作るものだそうです。子どもたちは自分たちで作ったまゆ玉をエゴノキに上手に飾り付けていました。学校の正面玄関にも飾りました。

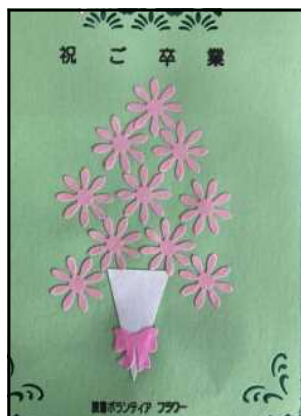


校外学習(3年)

27日(水)に、3年生が町民俗資料館に校外学習に行きました。コロナ禍の影響により、3年生にとっては初めての校外学習となりました。三密を避け、消毒、マスク着用を徹底して、見学をしました。子どもたちは、資料館職員の方の説明を真剣な態度で聞いていました。古い道具や民家を見たり、職員の方から話を聞いたりすることで、昔の人々の暮らしの様子を知ることができました。たくさんの質問もすることができました。

図書ボランティアの皆様

ありがとうございます。
ございました。



学校図書ボランティアの方々が、6年生の卒業記念として「読書カード」を作ってくださいました。

このカードは、後日6年生に送る予定です。お忙しい中、心温まるカードを作ってください感謝申し上げます。大切に使用させていただきます。

PTAの皆様

ありがとうございます

今年度のPTA会費より加湿器を新しく購入していただきました。

「新型コロナウイルス感染症」は、湿度を高めることでウイルスの飛沫感染や活性化を防ぐことができるそうです。子どもたちは恵まれた環境のもとで学校生活を送っています。



読書のすすめ

読書には、子どもたちの感性や知性を磨き、人間性を育てる大きな働きがあります。同時に様々な能力の育成にも役立ちます。まず、「直感的に読む力」が育ちます。また、文脈の中で「漢字を読む力」や「語句を理解する力」が育ちます。更に、語彙数も増えていきます。

では、本好きの子どもたちを育てるにはどうしたらいいのでしょうか。

1つ目は、「本を読む環境を整えること」です。1日10分でも、15分でも毎日本を読む時間を設定することが効果的と言われています。毎日読み続けることが本好きになる第一歩です。

2つ目は、「子どもたちの読む能力に合った本を選ぶこと」です。低学年ならあらすじのおもしろい本、中学年なら感動の中心がはっきりしている本、高学年なら作者の生き方、考え方の表れている本などがよいようです。

3つ目は、「読書の方法を考えること」です。低学年ですと「読み聞かせ」が有効ですし、中学年では1冊の本を親子で回し読みするのもよいと言われています。高学年ですと、一人の作者の本を親子で読んでみてもよいのではないのでしょうか。その作品に表れている主人公の生き方、考え方について話し合ってみるのも、楽しいでしょう。

学校でも、様々な方法を考えて読む楽しさを実感させ、本好きの子どもを育てていきたいと思えます。金曜日の親子読書の時間を活用して「お家の中で読書の世界」を楽しんでみてはどうでしょうか。きっと共感・共鳴する1冊に出会えるはずです。